



萩市立小川小学校 小川っ子だより

第11号

令和元年 12月12日

お・・思いやりのある子

か・・がんばり続ける子

わ・・わかる喜びを感じる子

2学期の締めくくりに～もうすぐ冬休み

12月6日の朝、洗濯物を干している時には星空だった萩市河添。5時30分頃に学校に向かって出発。須佐トンネルを過ぎると道路上は雪がシャーベット状になっていることにびっくり。徐行運転で小川に入ると、一気に降り出したあられ。急な冬の到来に驚いた1日でした。後8日の登校で、令和元年を終えようとしています。

12月1日のトリムマラソン大会(校内持久走大会)は、ふるさとづくり協議会小川部会を中心とした地域の皆様方の、「トリムマラソンは絶対に挙げる」という熱い思いが天に通じたのか、天気予報(曇りのち雨)を覆すほど絶好のトリムマラソン日和になりました。また、ご多用の中、保護者の皆様にお越しいただきました。おかげさまで、子どもたちは保護者や地域の皆様の応援や励ましの声で、「頑張る気持ちを大きく、かつ、持続することができた」ことで、試走の時よりも良い記録で走り抜けることができました。大変ありがとうございました。走り終わった後、小川婦人会の皆様が作られた餅まで入ったボリューム満点の豚汁のおかげで、体の芯からぬくもると共に、達成感をも味わうことができました。地域の皆様方のトリムマラソンにかける思いと子どもたちの頑張りに、感動した一日になりました。お手伝い・ご声援をいただいた皆様方、本当にありがとうございました。



2学期も実り多い学期でした。【「おー思いやり」「かー頑張り続ける」「わー分かる喜びを感じる】に視点を当てて成長を振り返ってみますと・・・。

「**思いやり**」では、「全校遊びを昼休みに月に一度する」ということを、推進委員会の児童が企画しました。11月は“ドッジボール”です。上級生も下級生も、声を掛け合い、ボールをパスし合い、楽しい一時を過ごしました。

「**頑張り続ける**」では、2年生と国語の授業を「すらすら音読することができるようになって、保育園で発表しよう」という目標を掲げ、2年生と国語の授業をしました。毎日の授業と放課後の校長室での練習に「上手になりたい」一心で、取り組みました。すると、日を追う毎に気持ちの入った音読ができるようになりました。園児の前でも見事な音読が発表できました。



「**分かる喜び**」では、「あと4ヶ月で複式での授業が終わるけれど、複式授業(同じ教室で同じ教科をそれぞれの学年に配当された学習内容を担任とする授業(国語等))と単式授業(一つの学年の児童だけの授業(理科等)や複数学年が同じ内容を学ぶ授業(音楽や道徳等))では、どちらが好き?安心して学習ができる?」と6年の児童に質問しました。すると、「複式授業が好き。なぜかという、自分たちが意識して学習していくことで、皆が一緒に学べる。すると、自分の考えも言えるようになって、分かることがどんどん増えてきたから。」という答えが返ってきました。小川小学校が取り組んでいる複式の授業が子どもたちに受け入れられ、分かるを実感しています。以上は、戸倉からみた印象的な出来事です。

23日には、個人懇談会が開催されます。お子様のより良き成長に向けての話し合いになりますよう、日頃思っていることや感じていることを担任に語ることで、有意義な場にしていただければと思います。

もうすぐ冬休みになります。12月25日から1月7日までの冬休みは、『1年を終える』と『新しい年を迎える』ということで、夏休みや春休みとは違います。したがって、“大掃除” “餅つき・大掃除などの迎春準備” “除夜の鐘つき” “初詣”等の体験



を通して、家族の一員としての自覚や新年の誓いを立てることで自分を見つめる絶好の機会です。保護者の皆様が意識して、そして、計画的に、お子様に体験させたい活動や話し合う場を設定していただければと思います。そして、ご家族そろって2020年(令和2年)が、素晴らしい年のスタートとなりますよう、職員一同心からお祈り申し上げます。

最後になりますが、地域の皆様、保護者の皆様には、今学期も、様々な形で学校運営にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。